

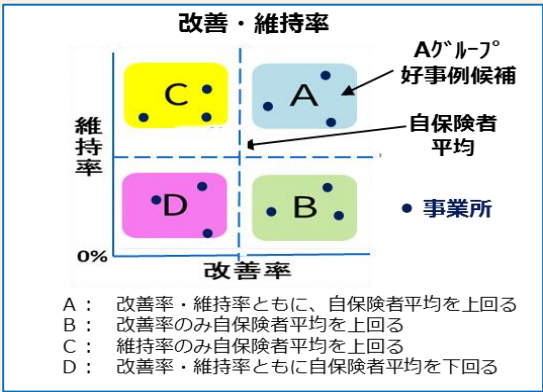
# サービスの質の評価に基づく新たな成果型加算の提言

川崎市及び品川区の「両自治体共通のデータ分析手法によるサービスの質の評価への取組み」と「事業者インセンティブ事業の効果検証」によって得られたエビデンスデータに基づき、「新たな成果型加算」を提言する。

## 両自治体共通のデータ分析手法によるサービスの質の評価への取組み

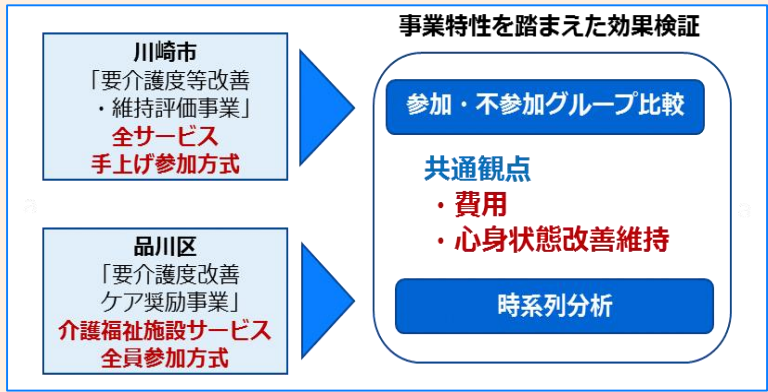
- ① 要介護認定データ及び介護給付実績データを、約10年間にわたり名寄せ突合の上、標準化した高齢者統合データを作成。
- ② 同データを分析し、身体ケアや認知症ケアのサービスの質に係る新たな評価指標（改善・維持率）により、各事業所を評価。

【データ分析の手法】  
心身状態全項目について事業所の改善・維持率を評価  
(医療サービスの影響等は除外)



## 事業者インセンティブ事業の特性を踏まえた効果検証の取組み

- ① 両自治体がこれまで取組んできたそれぞれの事業の特性を踏まえた分析により、定量的な効果検証を行う。
- ② 費用及び心身状態改善・維持の共通の観点から、川崎市は参加・不参加グループ比較、品川区は時系列分析を行う。



## 取組み成果に基づく新たな成果型加算の提言

## サービスの質の評価に基づく新たな成果型加算の提言

介護サービスの質の向上への取組み成果として、利用者の心身状態の改善・維持率が所定条件を達成した事業所へ、成果型加算を付与する。例えば所定条件として、身体機能や認知機能の改善・維持率を年度毎に集計して算定要件とする。

これにより、サービスの質の向上に加え、利用者の満足度向上、事業所職員の意欲向上及び介護事業経営の安定等を図る。

